

部 会 報 告

第11回 ISO/TC 195 及び第2回 TC 195/WG 4 ワルシャワ国際会議報告

I S O 部 会

1. はじめに

ISO/TC 195（建築用機械及び装置）の国際会議が、例年通りワルシャワの郊外の建築機械化鉱山協会で5月17日、18日開かれた。

今回は本会議の主要テーマである「コンクリート機械」の審議を効率的に行うため、本会議の前日の5月16日に TC 195/WG 4 を開催し、日本から提出している5件の規格案の審議並びに2件の新規作業項目の確認をエキスパートが集まって事前に終らせ、本会議に臨んだ。

本会議では、下記の規格案（FDIS 3件、DIS 2件、CD 2件）が進行中の WG 5（道路機械）のコンビーナであるフランスが欠席したため、日、独、ポーランド及びルーマニアの4カ国で TC 195 の議長/幹事に協力して、なんとか予定の案件を次工程へ進めるべく取りまとめたが、幹事国としての今後の事前対応改善が強く望まれる。以下会議概要について報告する（写真-1 参照）。

- 開催場所：ポーランド・ワルシャワ、建築機械化鉱山協会会議室
- 開催日時：ISO/TC 195/WG 4_平成13年5月16日（10：00～17：00）
ISO/TC 195_平成13年5月17日（10：00～17：00）、5月18日（9：00～16：00）
- 出席者：ISO/TC 195/WG 4_ポーランド（K. Szymanski, A. Rozbiewski, R. Nadowski, S. Bialostocki）、ドイツ（P.J. Probst）、ルーマニア（P. Bratu, A. Mihalcea）、日本 [大村高慶 TC 195/WG 4 日本主席代表（石川島建機）、田島修 TC 195/WG 4 日本代表（日工）、川合雄二 TC 195/WG 4 コンビーナ（日本建設機械化協会）]、計10名
ISO/TC 195_ポーランド（K. Szymanski, A. Rozbiewski, R. Nadowski, S. Bialostocki, M. Szarlik, J. Bienka, A. Dudczak, G. Tyro）、ドイ



写真-1 会議風景

表-1

格 案 名 称	規 格 番 号	規 格 審 議 レベル
1. コンクリートミキサ・第1部-用語と仕様項目	CD 18650-1	コミティドラフト
2. コンクリートミキサ・第2部-性能試験方法	WD 18650-2	ワーキングドラフト
3. コンクリート棒形振動機	WD 18651	ワーキングドラフト
4. コンクリート型枠振動機	WD 18652	ワーキングドラフト
5. コンクリートポンプ第1部-用語と仕様項目	NWIPxxxx	新規作業項目提案書
6. コンクリート吹付け機	NWIPyyyy	新規作業項目提案書
7. コンクリートポンプ第2部-性能試験方法		新規作業項目提案書検討予告

ツ（P.J. Probst, G. Piller）、ルーマニア（P. Bratu, A. Mihalcea）、日本（大村高慶、田島 修、川合雄二）、計15名

2. 議 事 概 要

（1）ISO/TC 195 WG 4, 5月16日（10：00～17：00）
ISO/TC 195 議長の Szymanski 博士の挨拶の後、コンビーナが議長になって議事を進行した。なお、書記には、Rozbiewski（ポーランド）、Probst（ドイツ）、川合（日本）の3名が選ばれ Bialostocki（通訳）がこれを支援して決議書案を作成することになった。以下審議順に各規格の検討状況を述べる。

（a）WD 18650-1（コンミキサ（第1部）用語と仕様項目）

コンビーナより、それまでに寄せられたコメントを含めた最新の改正案（N 291）の説明があり、この資料をベースに審議が行われた。主な決議事項は、次のとおり。

- ① 日本からの ISO 11375（用語及び定義）にない種類の機械の規格への反映に関する提案については、現在検討中の ISO 11375 の部別追補修正に入れることとし、日本で資料（機械の画及び定義文）を準備提出する。
- ② 前回の会議で本規格の用語の定義と ISO/TC 71（コンクリート、鉄筋コンクリート、プレストレストコンクリート）の関連規格や prEN 12521 に定義の存在するものとの整合性比較をポーランドが行うことになっていたが該当なしとのことであった。いずれにせよ、既存の定義がある場合には、本規格では定義しないこととする。
- ③ 附属書 A、C の言葉の表現については、Rozbiewski が平成 13 年 6 月 30 日までに案を作成し、コンビーナに提出する。
- ④ 附属書 B の画 B1、B2、B3 及び B13 については、画の提出元にて各々構成要素のリストを載せる修正を行う。
- ⑤ 以上を含めた修正版（CD）を日本は、9 月 30 日までに作成する。

(b) WD 18650-2（コンミキサ（第 2 部）性能試験方法）

コンビーナより、それまでに寄せられたコメントを含めた最新の改正案（N 294）の説明があり、この資料をベースに審議が行われた。主な決議事項は、次のとおり。

- ① 日本は、5.3 項（練混ぜ試験方法）での資料採取方法をより詳細に定義し、7 項（試験結果報告）の練混ぜ性能値の条件を明確にする。
- ② 2 項（引用規格）の誤記を修正する。
- ③ 日本は、5.2.2 項の定格容量が 3.0 m³ 以下の強制練りミキサについての試験時間 60 秒を 30 秒にできないかを検討する。
- ④ ドイツは、5.2.4 項の「強制ミキサ」を「連続ミキサ」に変更できないかを検討する。
- ⑤ 日本は 5.3.2.3 項及び 5.3.2.4 項の規定を省けないかを検討する。
- ⑥ 日本は、5.3.3 項に圧縮強度用試験片の立方体寸法の推奨値を入れるか否か決める。
- ⑦ ドイツは、7 項の「粗骨材」意味する寸法をチェックする。
- ⑧ 以上の調査事項及び更なる追加コメントは、コンビーナ宛にて 9 月 20 日までに提出し、コンビーナは、それらを纏めて 10 月 31 日までに CD を作成する。

(c) WD 18651（コンクリート棒形振動機）

コンビーナより、それまでに寄せられたコメントを含めた最新の改正案（N 292）の説明があり、この資料をベースに審議が行われた。主な決議事項は、次のとおり。

- ① 日本は、ISO 11375 にない種類の機械については、定義文及び画を準備する。
- ② 日本は、5.5 項及び 7.4 項の騒音測定方法間には矛盾がないように変更する。7 月 15 日までに進行。
- ③ 日本は、ポーランドが準備した四つの図を追加し、振動機の構成、構成要素の用語及び略語の簡素化を行う。
- ④ 日本は、以上の変更を含めた CD を 9 月 30 日までに作成する。

(d) WD 18652（コンクリート型枠振動機）

前回の会議で「当該機械の無負荷試験方法」が理解できないとの意見があり、日本における実際の試験状況を会議に先立って日本よりビデオで説明した。その後、コンビーナより、それまでに寄せられたコメントを含めた最新の改正案（N 293）の説明があり、この資料をベースに審議に入ったが各国での事前検討が充分でなく、コメントをそれぞれ 7 月 31 日までに提出することとし、CD は、11 月 30 日までに完成させることとなった。

(e) NWIPxxxx 建築用機械及び装置—コンクリートポンプ（第 1 部）用語と仕様項目

(f) NWIPyyyy 建築用機械及び装置—コンクリート吹付け機

提出済みの上記 2 件の「新規作業項目提案」が投票承認された旨の報告が TC 195 の幹事よりあったので、提案書に付した規格案をベースに WD を日本が各作成することとなった。

(g) 建築用機械及び装置—コンクリートポンプ（第 2 部）性能試験方法

日本よりコンクリートポンプの性能試験を本年度行い、年度末までに新規作業項目を準備提出するという予定を説明し、各国の協力を要請した。

(2) ISO/TC 195, 5 月 17 日（10:00~17:00）、5 月 18 日（9:00~16:00）

議長 の Szymanski 博士の議事進行により会議は進められた。なお、書記には、Rozbiewski（ポーランド）、Probst（ドイツ）、川合（日本）の 3 名が選ばれ Bialostocki（通訳）がこれを支援して決議書案を作成することになった。引続いて幹事より、この 1 年間の活動報告（2000 年 5 月 13 日~2001 年 5 月 6 日）があった後、各 WG の審議に入った。

(a) WG 2（用語）、コンビーナ A. Dudczak（ポーランド）

TC 195 の唯一の制定済み規格である ISO 11375（建築用機械及び装置の用語と定義）に関して「道路機械」を



写真—2 会議出席者

追加する追補修正作業が日本からも意見を提出して行われているが、コンクリート機械関係についても、今回の事業で開発している規格に出てくる機械が現行規格の中に必ずしもなく、これを機会に追補修正を日本から提案することになった。

(b) WG3 (杭打ち機), コンビナー A. Dudczak (ポーランド)

FDIS 11886 (杭打ち機, 杭抜き機) が最終意見調整を経て再度投票にかけられることとなった。

(c) WG4 (コンクリート機械), コンビナー 川合雄二 (日本)

川合コンビナーより CD 1 件, WD 3 件, NWIP 2 件の WG 4 での検討事項及び結論を説明し, 親委員会としての承認を得た。

また, 建築用機械及び装置, コンクリートポンプ (第 2 部) 性能試験方法, に関して来年 3 月末に NWIP を提出することに対する同意も得られた。

(d) WG5 (道路機械及び維持機械), コンビナー Y. Charonnat (フランス)

コンビナーの Y. Charonnat (フランス) の欠席という異常事態の中, Szymanski 議長がコンビナーを代行して審議を進行し, 3 件の FDIS の内容確認と 3 件の DIS 案, 1 件の CD 案に関する追加意見聴取を行い, 各次工程に進めることとなった。

(e) 「新規作業項目」として次のテーマが話題となった。

- ① “Adjustable telescopic steel props” (EN 1065) (TC 195 幹事より)
- ② TC 195 の機械の騒音測定方法を TC 43 (音響) と共同開発する。(TC 195 議長より)
- ③ “Cutting-off machines” 用規格の開発 (コンビナー募集) (ドイツの産業界より)

(f) WG5 のコンビナーに関し, フランスの代替が緊急に必要になり, 米国かドイツで検討が進められている。

3. 総括

今回の会議は, 参加国がドイツ, ルーマニア, ポーランド, 日本の僅か 4 カ国と低調で米国, フランス等には, 事前によりきめの細かい調整を行っておくよう幹事に要請した。世界的に長期間使用できる国際規格を作るには, 関係各国のコンセンサスを十分にとっておく事が重要で, 出席できない国に対しては e-mail にてその意見を事前に確認し幹事が代弁できるようにしておく必要がある。

今回の会議の主題であるコンクリートミキサ, 棒形振動機, 型枠振動機に関する 4 の規格については, 意見交換を終了, 本年 9 月~11 月までに CD として案が纏まることとなった。また, 「新規作業項目」として提案中であつたコンクリートポンプ, コンクリート吹付け機についても作業項目として承認されたこと等, 我々の予定どおり推進することができた。これは, ドイツ代表が議事進行に非常に協力的であつたことにもよるが, やはり少数メンバでの会議であつたからで, 欠席したフランス, 米国ほか関係各国には事後のコミュニケーションを十分行うこととしたい。

なお, 次回の TC 195 の会議は, 2002 年 5 月にワルシャワで開催されるが, 同じ時期に同地で TC 127 (土工機械) も開かれ双方の交流が図られる。建設機械全体からの視野に立って規格化のありかたを考える時期になってきている。

末筆ながら, 今回の会議開催を計画, 実施, 無事終了させた幹事国のご尽力とご好意に対して参加者一同, 深く敬意の念を表したい。
(文責: 川合雄二)